

## 県選手権シングルス大会開会式のご挨拶

2004 - 7 - 3

テニス協会 会長 直井啓吾

本日は遠方より大会に参加頂き有難うございました

本大会は、シード選手および支部の予選大会を突破した県内のトップ選手が参加できる、伝統ある大会です。日頃の練習成果を十分に発揮し、ハイレベルの熱戦を展開することを期待しています。

県協会では、選手の皆様が楽しくプレー出来る環境を整えるべく種々の改革を進めておりますが、県選手権大会に関係する今年度の改革と今後予定している改革内容の概要をご報告致します。

今年度より大会事務局を新設し、参加者の受付、ドローの作成支援、試合運営支援等を行っています。

ドロー作成においては、bye を無くし、男子128名、女子64名のフルエントリーとし、昨年度より参加者を増加させています。また、ドロー作成以前に予定参加者の不参加が判明した場合はラッキールーザーの選手をドローに入れていきます。当日ラッキールーザーもホームページで事前にお知らせし、便宜を図りました。

来年度からは、県選手権シングルス大会を国体選手の第一次予選大会および県民総体と兼ねることを検討しております。その場合は日程が早まりますのでご承知おきください。

(注記；県選手権シングルス大会を県選手権ダブルス大会より先に行う予定です)

さて、本年秋に予定している一般の部のトーナメント大会をPR致します。

本大会は、昨年度は定員に満たなかったため、従来のような制限枠をはずした大会とし、会員は誰でも参加できる大会としました。

この大会はシングルス、ダブルスともに県協会のポイント大会です。予選を突破し、本戦に出場した選手にはポイントが与えられますので、本県選手権大会に出場された選手は奮ってご参加ください。

最後になりましたが、本大会の運営をお願いしております水戸支部の関係者の皆様、レフリーおよび審判員の皆様には大変御世話になっておりますことに感謝申し上げます、ご挨拶に変えさせていただきます。

選手の皆様のご健闘をお祈り致します。

以上